



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151 担当者の所属・氏名 消化器一般外科 吉田拓人

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器一般外科科 吉田拓人

当院消化器・一般外科で大腸がん手術を受けた方を対象とした栄養状態と手術成績に関する研究

1.研究の対象

2013年1月から2019年11月までに大腸癌および直腸癌と診断され、消化器一般外科で手術を受けた患者。

2.研究の目的・方法

現在、本邦は他国には類を見ないスピードでの高齢化社会を迎えており、今後、高齢化率はより高度になっていくものと予想されています。そうした現状の中、現在、高齢者特有の体の変化である筋肉量の減少をとらえたサルコペニアというキーワードが注目されています。これまでに様々な分野において、術前のサルコペニアの有無とあらゆる疾患や手術成績との関連があると言われており、特に外科領域においては、術後のリハビリのみならず、術前からの栄養・リハビリ介入が重要とうたわれるようになってきています。そこで当院として、今後そうした術前介入を勧めるべく、まず現状の把握として、当院で手術を受けられた患者さんの術前の筋肉量と手術成績の比較を行いたいと思っております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載されないようにについての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年7月1日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

生年月日、イニシャル、入院期間、合併症、手術の術式等

4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織